

財布の三カタ

進学や就職、転勤に伴う単身赴任などで4月から1人暮らしを始める人も少なくないでしょう。新生活の家電をそろえるには、買うほかに、最近ではレンタルも定着しつつあります。どちらがお得で、使い勝手がいいのか。暮らし方や1人暮らしをする期間の長さによって変わってきます。(河原 千春)

「借りる？ 買う？ 1人暮らしの家電選び」の巻

借りれば初期投資ゼロ。好み重視なら購入で。

インターネット上でレンタル専門のサイトを運営するサークルランド(東京)が貸し出しているのは約130品目。冷蔵庫や洗濯機といった家電はもちろん、物干しざお一本からベッド、自転車まで多岐にわたる。荒木勤・営業一部長(50)は「利用者が多いのは単身赴任」と言う。

松本市の綿半レンタル松本店も、単身赴任の人の利用がまだ。「赴任期間が1年くらいなど、ある程度分かっていることが多い」と百瀬聡店長(44)。

期費用がかからないことがレンタルの強み。家電を処分する際の手間やお金も心配しなくていい。ただ、商品によっては購入と変わらない金額だったり、期間を決めず借り続けるとかえって割高になることも。レンタル中に壊れたり傷をつけたりすると弁償が必要になる場合もある。家電量販店大手の「ジョーシン」長野インターネット(長野市)。新生活向けの家電パックを展示している。黒やピンク、ベージュなど色を統一したシリーズが学生に人気という。例えば、国内大手メーカーの洗濯

乾燥機、冷蔵庫、オーブンレンジの3点セットで12万円余。中国や韓国のメーカーの家電も組み合わせると10点で6万円弱のセットもある。窪田博文副店長(38)によると、3点セットの場合、単品で買ってもパックとの価格の差はさほどない。いずれも初期費用はかかるが、好みの家電を長く使えるのが利点だ。

購入とレンタル、どちらを選ぶのがいいのか。家電コンシェルジュの神原サリさん(51)「東京都」は「実際の暮らしを具体的に想定することが重要」と話す。

神原さんは昨年夫の単身赴任で家電をそろえる際、吟味した上で購入した。例えば冷蔵庫。小型だと低価格だが、消費電力がかかったり機能が十分ではなかったりする。余ったご飯やおかずを冷凍できるよう冷凍室が大きいものにした。洗濯機も帰宅後の夜でも回せるよう、少し値は張るが音が小さいものを選んだ。「安さにつられて選ぶと、暮らしの幅を狭めることになりかねない」と神原さん。「試す時間を確保するために、まずはレンタルという使い方もある」と話している。



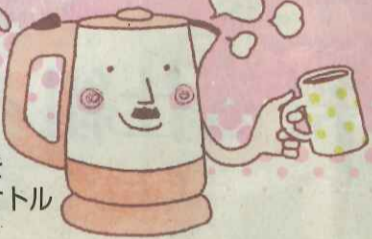
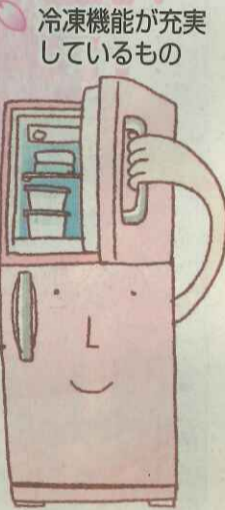
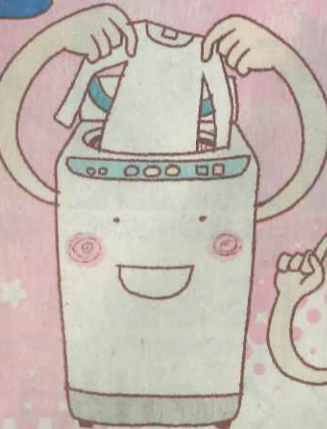
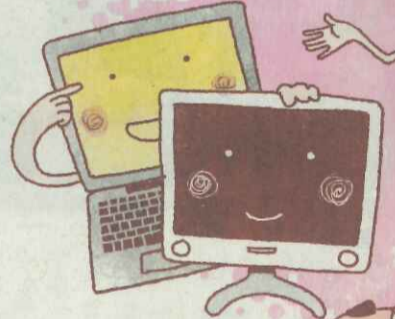
購入 レンタル
どっち?

- ひとり暮らしの期間が未定
- 好きな家電を選べる(省エネ家電なら電気代節約に)
- 長く使うならお得

- ひとり暮らしの期限がだいたい分かっている
- 引っ越しを身軽にしたい
- 戻ったときに置く場所がない
- 処分時にかかる費用を抑えられる

コードレス掃除機もスタイリッシュなデザインなら部屋に出して飾れる

テレビはパソコンで代用できる



乾燥機能付きがオススメ

ひとり分のお湯をわかすなら電気ケトル

イラスト・春原信幸

購入とレンタルの一例

	新品	中古	
レンタル	16型テレビ	1年	1年
	冷蔵庫(80ℓ)	6万9000円	4万4000円
	洗濯機(4.2kg)	2年	2年
	電子レンジ	7万5000円	5万9000円
購入	冷蔵庫(137ℓ)	12万5800円	
	洗濯乾燥機(6kg)		
	オープンレンジ		
	冷蔵庫(106ℓ)		
	洗濯機(4.6kg)		
	電子レンジ		
掃除機	5万9800円		
炊飯器			
	など10点		

※サークルランドとジョーシンによる

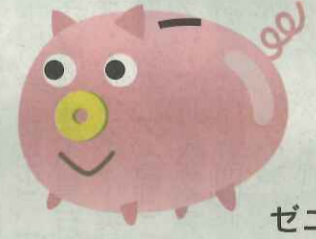


レンタルなら、引っ越しも身軽。短期の単身赴任にはぴったりだ!

マニー

新しいものが大好きで、試してみないと気がすまない。ITに強く情報収集が得意。もちろんスマホも使ってます。

どんな機能が必要?暮らしぶりを考えて自分にあったものを選ぼうね。



ゼニー

堅実派。節約しつつ、こつこつ小銭をためるのが楽しみ。新しい話にもすぐには飛びつかず、しっかり調べる。